

車いす駐車場の意味を知っていますか？

広いスペースの駐車場がなぜ必要なのか。想像してみてください。

車いすマークの表示があり、他の駐車場よりスペースを広くとってある駐車場を見かけたことはありませんか？

この駐車場は、車への乗り降りの際にドアを大きく開け、広いスペースが必要な車いす使用者の方のために設置しています。

こんなことが起こっています。



必要としない方が駐車しているため、本当に必要な車いす使用者などが停めることができません。「ちょうど空いているから」「ちょっとの時間だから」などといった配慮に欠ける行為が迷惑行為となっています。

ちょっとした思いやりで、マナーある駐車を心がけましょう。

車いす使用者は、自動車のドアを全開にできるスペースがないと乗り降りができないのです。



車いすに乗っていると車の陰になって、他のドライバーから見えにくくなるので、安全の確保のために入り口近くに設置されています。

この場所は、車いす使用者にとって、ここしか自動車を停められない大事なスペースです。

皆様のご協力をお願いします。

だれもが、住み慣れた地域で生きがいをもち安心して暮らせる社会を築いていくためには、市民の一人ひとりが、思いやりや助け合いの心をはぐくんでいくことが大切です。そこで、心に思いやりや助け合いの気持ちを培い、将来の地域活動の拡充、発展をめざすため、標語を募集します。

応募資格／どなたでも可
応募方法／氏名、性別、年齢、住所、電話番号を記入し、市民窓口センターもしくは、各支所へ提出してください。

応募書式は各窓口で受け取っています。

年齢、性別、ことばの理解度、障がいや病気のあるなしなどに関わ

●ユニバーサルデザインって？
年齢、性別、ことばの理解度、障がいや病気のあるなしなどに関わ

ただけです。また、任意の書式、電子メールでも受け付けします。
標語のテーマ／ユニバーサルデザインに対する理解や関心、啓発を深めていくことを表現したもの、また全ての市民が安全に快適に住み続けられる地域づくりを進めるための想いなど。
募集期限／12月26日(金)
※優秀作品として採用された作品の標語は、ポスター等の啓発品に使用させていただきます。

思いやり・助け合いの心を持って ユニバーサルデザイン推進のための標語を募集します

ならず、また、大きな荷物を持っている時や子どもを連れていく時、妊娠している時、けがをしている時など、どのような状態の時でも、自由に行動でき、快適に生活できる社会であることが大切です。

ユニバーサルデザインとは、こうした社会を実現するために、ものやまちをだれにとっても便利で使いやすいように、はじめから考えて計画し、実施すること。そして、その後もさらに良いものに変えていくという考え方です。

問い合わせ・申し込み
ユニバーサルデザイン推進協議会事務局
(社会福祉課 健康福祉政策担当)
☎65-0700 FAX63-4085
koka253000@city.koka.shiga.jp

乗って
実現させよう

「草津線の複線化」①

日頃、皆さんは鉄道を利用されていますか。今の草津線のダイヤで満足ですか。

草津線が複線化されると、増便が可能となり通勤・通学が便利になることはもちろん、沿線地域の活性化による経済波及効果も期待できます。

複線化を現実のものとするためには草津線の乗客数を増やしていくことが必要になります。

具体的には

- ◎通勤や通学、出張や旅行の際は草津線を積極的に利用しよう。
 - ◎定期券、回数券などは地元最寄り駅で購入しよう。
 - ◎移動は自動車から鉄道へ代えて、より一層草津線を利用しよう。
- 甲賀市も滋賀県と沿線市町で構成する滋賀県草津線複線化促進期成同盟会（他の構成団体：滋賀県・草津市・栗東

市・湖南市・日野町・三重県伊賀市）に参画して草津線の複線化をJR西日本に働きかけています。

複線化の必要性は

草津線が単線のままでは、今以上のダイヤ増便は困難な状況です。また、草津線は他の路線に比べて駅間距離が長く、電車の行き違い設備が少ないことから、草津線の利用実態に応じて、電車の行き違い設備を設置して線路容量を順次増やすなど、段階的に複線化をめざします。

次号では、段階的整備についてお伝えする予定です。

問い合わせ

企画政策課 交通政策担当
☎65-0672 FAX63-4554
滋賀県草津線複線化促進期成同盟会
(滋賀県土木交通部交通政策課内)
☎077-528-3681 FAX077-528-4837

